

授業計画（シラバス）

<p>■科 目</p> <p style="text-align: center;">保険請求事務</p>	<p>■講師名</p> <p style="text-align: right;">齋藤 育子</p>
<p>I 部 2 学年</p> <p style="text-align: center;">後期</p> <p style="text-align: center;">1 5 コマ (1 コマ 90 分授業)</p>	<p style="text-align: center;">総時間 30 時間</p> <p style="text-align: right;">講義 2 単位</p>
<p>■学修概要</p> <p>歯科医院における医療事務を遂行するにあたり必要な能力を育成する。</p> <p>歯科疾患を説明する。点数算定の仕組み（各診療行為の算定におけるルール）を説明する。</p> <p>これらの知識をふまえた上でレセプト作成を行う。</p>	
<p>■授業目的、到達目標</p> <p>医療保険制度を理解することができる。</p> <p>疾患別の治療方法を学び治療の流れを理解することができる。</p> <p>点数算定の仕組み（各診療行為におけるルール）を理解することができる。</p>	
<p>■授業方法</p> <p>講義形式</p> <p>歯科疾患、治療の流れ、点数算定の仕組み等の知識をふまえた上でカルテの点数算定をし、レセプト作成をする。</p>	
<p>■教科書（書籍名・出版社）</p> <p>歯科保険請求マニュアル 令和 4 年度版 医歯薬出版</p>	
<p>■成績評価・講義上の注意</p> <p>平常点（授業への参加・意欲）・・・30% 提出物（レセプト）・・・20% 定期試験・・・50%</p>	
<p>■実務経験</p> <p>歯科衛生士、医療事務管理士の資格を有し歯科衛生士として診療所、保健所（10 年間）勤務する。</p> <p>医療事務管理士として保険請求事務を昭和 60 年より現在まで行う。また、平成 21 年より医療系専門学校、歯科衛生士学校、短期大学にて歯科医療事務講座を担当し現在に至る。</p>	
<p>■授業計画（講義の流れ）</p>	
1	歯科医療事務への導入 口腔の基礎知識
2	基本診療料 投薬
3	歯冠修復
4	歯冠形成 印象採得 咬合採得 支台築造
5	う蝕症
6	歯内療法（歯髄炎）
7	歯内療法（根尖性歯周炎）
8	手術 口腔軟組織疾患
9	歯周疾患
10	欠損補綴（架工義歯）
11	欠損補綴（有床義歯）
12	学科問題（検定試験対策）
13	実技問題（検定試験対策）
14	まとめ（レセプト点検）
15	定期試験 解答解説